

2019年2月7日  
中国新聞

## 事業承継経験を共有

### 広島社長たちがパネル討論

中小企業の経営者に、事業を引き継ぐ方法を伝える全国事業承継推進会議が6日、広島市中区のホテルであつた。県内の企業の社長たち4人がパネル討論し、事例を紹介した。

機械設計のユニテック工業（福山市）の田口裕司社長は、創業者の父に代わり2016年に社長に就いた経験を振り返った。「承継の話をしたら早期の交代を望んでいるよう捉えられ、一時、父と険悪になつた」

と明かし「父に手紙を書き続け、心を開ける関係を築いた」と語った。

清涼飲料水を製造するフジスコ（広島市安芸区）の植田悠司社長は「創業者だけでなく、お客さまや社員からも認めてもらうことがスムーズな承継につながる」と説いた。事業承継のポイントを解説する講演もあつた。

後継者が決まらず廃業する企業が増えているため、国が全国9地域で推進会議



パネル討論で事業承継の事例を紹介する  
会場企業の社長たち

を順次開いている。中国経済産業局などが主催し、約250人が参加した。

（東谷和平）